

2017年3月25日(土曜日)

2134号 (毎月5、15、25日発行)
付録
1950年12月16日第三種郵便物認可
1部140円 月額400円 (郵送料月額120円)

平和新聞

名古屋市政に春を！ 市民の願いを実現する市長の誕生を！

3月7日名古屋市公会堂で、「みんなでつくりたい！住み続けたいまち名古屋 願いを集める市民集会」が開催されました。主催者の市政に春を呼ぶイキイキ！ワクワク！実行委員会を代表して萩原さんが挨拶をしました。萩原さんは、「春を呼ぶ」のネーミングがいいと言い、河村市政の今は冬、いわき正光(まさてる)市長で春にしましょうと呼びかけました。萩原さんはリサイクルの市民運動をしているけど、選挙は初めてだそうです。

同じ弁護士として応援に来た長谷川一裕さんは、体を張って児童虐待や子どもの貧困問題に取り組んできたことや、いわきさんの尽力があつて「憲法と平和を守る」集会を市と共催できたことを紹介しました。

待機児童をなくし安心して保育園に預けたい・保育園や学校



3/7 名古屋市公会堂

給食の民営化反対・リニア新幹線ストップなど様々な要求がだされ、最後に天守閣の木造化に反対して、独自の署名530筆を届けた稲垣さんが、「天守閣を木造にするということは、今の天守閣を壊すこと、継続審議で先延ばしするのではなく、きっぱりと中止を決めてほしい」と訴えました。

3・11集会

原発いらない！ 800人が訴える

東日本大震災から六年、私たちはフクシマを忘れないー三月十一日、朝からマルシェ(青空市)でにぎわう栄・もちの木広場には、八〇〇人の人たちが集まりました。

午後から始まった集会には、自由・社民・共産・民進の各政党代表が、「福島原発事故に何の手だてもできない安倍政権は打倒」今だに八万人の避難者にも関わらず、再稼働・輸出の原発推進は許されないと、安倍政権の姿勢を糾弾しました。

物理学者で被爆者の立場から沢田昭二原水協理事長は、今だ高線量のフクシマの現状を憂い、「内部被ばくを軽視・無視してはならない」と警鐘を鳴らします。AJU自立の家の水谷真氏は、「障害者が避難所にいない」と現地支援の経験から、避難所

う市政にするために立候補する。現場主義・対話主義を貫く」と表明し、陽子線治療の導入をめぐる日立とのいざこざに、横浜弁護士会が示した和解案を受け入れるべきと提案したら、「副市長が市長に命令するのかわ」と怒り解任されたことをあかししました。

(戸谷)



発言する沢田さん 3/11
名古屋市・栄

にも行けない障害者の現状を語りました。「震災などの被害は、弱い立場の人々に集中する」と訴えます。

愛知のうたごえによる「心つなごう」が静かに合唱される中、あの日と同じ午後二時四十六分を迎えたのです。黙祷する参加者の胸に去来するのは、犠牲者への鎮魂か、はたまた何もやらない安倍政権への怒りでしょうか。参加者たちは、「原発いらない、再稼働反対」の声を上げ街

春日井駐屯地、 50年記念行事を開催



3/5 春日井駐屯地

3月5日、陸自春日井駐屯地で、50年記念行事があり、調査しました。同日小牧基地航空祭への出席をしなかった春日井市長は、来賓としてあいさつしました。駐屯地指令はあいさつの中で「グローバルな安全保障の活動が求められる中、いかなる任務も遂行し、地域住民から信頼される駐屯地をめざす」と述べました。

訓練展示で、ヘリからの降下訓練や陣の制圧などがくり広げられ、155ミリりゅう弾砲の空砲を5発も発射するなど、駐屯地は戦場と化していました。りゅう弾砲は豊川駐屯地から来たとのことでした。

戦車、高機動車とトラックの3種で、試乗会も行われました。

(三浦)

頭デモへと出かけたのでした。県平和委員会では、今年もマルシェに出店参加。「原発と安保条約」を主テーマにパネルを展示、参加者に訴え論議をくりひろげました。(松下)



オランダ 下院選から見る

オランダ下院選(定数150)が、十五日投票で行われ、選挙結果が出た。連立与党の自由民主党(40↓33)は、敗北しながらも第一党の地位を得て大喜びである。

それは、極右政党自由党(12↓20)の勢いを凌いだからである。他の党、社会党(15↓14)・キリスト教民主勢力(13↓19)・民主(12↓19)・グリーン・レフト(4↓14)などの連立を組めば、組閣は可能である。

しかし、自由党のポピュリズム・反移民・反イスラム教の主張は、今後も高まるおそれがある。四月二十三日に大統領選挙があるフランスでも、反移民・難民、反EUの極右政党国民戦線のルペン党首が勢いを増している。また九月投票予定のドイツでは、ドイツのための選択肢なる極右政党が、メルケル政権を脅かしている。

これらは、イギリスのメイ首相、アメリカのトランプ政権の発足から始まった世界の右傾化現象である。

実は、先頭に立っているのが、安倍政権である。安倍打倒は、世界の人民の願いなのだ。(伸)

3・1ビキニデー集会 分科会の報告

前号から引き続き、ビキニデー集会各分科会の参加者からの報告を掲載します。

●第一分科会

第一分科会「核兵器禁止条約の実現へ『ヒバクシャ国際署名』をひろげよう」では、世界で数億の署名を集めるための運動の交流がされました。

最初に司会者より署名の意義について触れ、かつて1950年代にとりくまれた署名はレッドページの対象となる時代に600万筆もの署名を集め、それが大きな力になったことに触れ、①条約交渉開始という画期的情勢に正面から応えたもの②被爆者自らが訴える署名の説得力の大きさ③圧倒的な国民の声を結集できるものの3つの観点を重視しようと呼びかけられました。

全国各地で「ヒバクシャ国際署名」を推進させる連絡会が結成され、幅広い市民とともにとりくみます。



第5分科会 2/28 静岡

始まっていることが報告されました。青森では、被爆者とともに団体を回り原水禁とも協力が進んだ経験が紹介。9条の会の運動や戦争法廃止の運動での共同の積み上げが今につながっていることが報告されました。埼玉県本庄市では、市長、議長、医師会長、自治会連合会長、JA組合長などが署名し、チラシにも推進を呼びかけている幅広いとりくみが紹介。その他にも長崎、東京多摩、山口などのとりくみが報告されました。これまで応じてこなかった首長が賛同する経験も報告されるなど、署名の力強さを実感する分科会となりました。(矢野)

●第三分科会

2月28日、原水協全国集会の第3分科会「沖縄のたたかいを全国に―憲法をいかし、非核の日本を―」に参加しました。日本平和委員会常任理事の川田忠明さんが「在沖米軍と北朝鮮核問題―抑止力―の危機と問題解決の道―」を報告しました。

昨年6月27日〜7月14日に実施した米韓海兵隊合同訓練では、北朝鮮内陸部に侵入し、主要施設を破壊する訓練でした。その直後の7月19日に北朝鮮がノドンとスカッドを発射しました。この他にも米韓合同演習を行うことに対抗し、北朝鮮の核実験や弾道ミサイル発射は行われていると、紹介しました。在沖米軍は、安全を守るどころか、軍事緊張を激化させています。

北朝鮮問題解決の道筋を①軍事的な解決でなく、外交的解決に徹す

る、②「核兵器のない世界」実現に本気で取り組む、として北朝鮮を含む6カ国協議を推進することが重要であると報告されました。

全国各地からとりくみが報告され、愛知からも、小牧基地のブルーインパルス問題を報告しました。(三浦)

●第五分科会

初めての参加で、それも長年の悲願であった核兵器禁止条約の交渉会議が国連で始まるという歴史的な年のビキニデー集会という事で、緊張と高揚感のある2日間でした。分科会は「国民平和と大行進と非核平和の自治体づくり」に参加。各地で、粘り強く工夫して活動している様子を聞き、とても勉強になりました。

中でも感銘を受けたのは稲沢の取り組みです。愛知県の、しかも春日井からすぐ近くの稲沢で32年も前から原水協と多くの市民団体(市子連、仏教会、医師会、婦人会、町内会等)が協同して平和活動を進めていることを初めて知りました。

市教委が作った平和副読本で小・中学校の授業が行われ、各中学校で「原爆パネル展」が行われ、仏教会の理解と協力で毎年「平和の鐘を打ち鳴らす運動」が続けられている、など平和教育が素晴らしい。そしてアピール署名も住民の過半数を達成したという。

それを表現させたのは、毎年市長交渉で要求を出してきた運動の継続だと思います。参考にしていきたいです。(新婦人春日井支部・山下まり子)

瑞穂区平和委員会定例会

沖縄とビキニデー集會を学ぶ

3月13日、「沖縄の今と3・1ビキニのつどい」を開催しました。前半、ビキニデーに参加した三浦米吉さんが報告しました。今年のビキニデーは、核兵器禁止条約実現の歴史的好機を目前に開催されるとあって、愛知県からの参加者119人を含め、核廃絶に向け熱い思いが共有できるものだったそうです。特徴的には、例年以上に情勢を反映した戦争法、沖縄基地問題、原発再稼働など平和にかかわる広範な運動が報告されていたそうです。三浦さんも分科会で愛知県平和委員会の取り組みとして、小牧基地でのブルーインパルスの展示(曲技)飛行反対の運動を報告しました。

後半は、神戸都夫さんから「今、沖縄で起こっていること」と題してお話をいただきました。初めて歌の仲間といったキャンペーンシュワ

ブ前の座り込みで、頑張ってください。頑張りましょうと言ったから何回も現地に足を運んで、警察にごぼう抜きにされたり、大浦湾の海上抗議カヌーに乗ったりした体験を聞きました。高江のヘリパッド建設現場のN1ゲート前の警察車両の増強の様子がよくわかるものも含めA4サイズの写真プリントがたくさん準備され、具体的に理解しやすいものでした。勝つ方法はあきらめないこととの標語は、納得と共感をひろげるものとの思いを持ちました。

後半は、神戸都夫さんから「今、沖縄で起こっていること」と題して

お話をいただきました。初めて歌の仲間といったキャンペーンシュワ

いわき正光(まさてる)さんを名古屋市長に！ 平和・文化のつどい

河村名古屋市政8年間で、市民税減税で格差を拡大させ、天守閣木造化計画の一方で、医療福祉が切り捨てられてきました。南京事件否定発言などで友好都市関係が断絶するなど、名古屋市の平和行政も大後退しています。

「憲法9条と25条は、一番大切」と訴える、いわき正光さんを名古屋市長に！ 平和・友好・連帯活動に関わる団体で平和・文化のつどいを開催します。

つどいは、いわきさんのあいさつ、うたごえ協議会・武藤さんによる歌唱、命どう宝から沖縄の演奏など予定しています。ぜひご参加ください。

日時：3月30日(木) 18:30~
場所：民主会館2階会議室

主催：平和・友好・連帯団体後援会